

芦北町議会だより



うたせ

第41号

平成27年
6月2日発行



女島環境学習公園落成記念グラウンドゴルフ大会 (5月17日)

- 3月定例議会 P 2～5
- 総務常任委員長報告 P 6～7
- 建設経済常任委員長報告 P 7～8
- 文教厚生常任委員長報告 P 9～10
- 一般質問 P 11～15
- 議会のうごき・編集後記 P 16



3月定例議会



3月定例議会は、3月2日に招集され、13日までの12日間の会期で開催しました。
上程された議案は、平成26年度補正予算をはじめ、平成27年度当初予算、条例の制定・廃止・一部改正、新町建設計画の変更、町有施設の指定管理者の指定など合計44議案あり、審議を行い採決の結果、全て原案のとおり可決しました。

また、5人の議員が町の行財政全般にわたり一般質問を行いました。
(議案の内容と結果は、4～5ページに掲載)

町長の施政方針と予算大綱(要約)

◎社会情勢と芦北町の状況

本年1月1日に合併10周年を迎え、「すべては次代を担う子供たちのために」を基本理念に、今後10年間のまちづくりの指針となる「第二次芦北町総合計画」を策定いたしました。個性の輝くまちづくりを推進するための施策展開を図っていく初年度となります。

昨年、第3次安倍内閣が発足し、国において「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されたことから、自ら考え、自ら行うという地方の自立心の再生を促し、新たな交付金が配分されるという、さらなる地域間競争の時代となっております。

◎まちづくりの目標

- ① 地域活力と雇用を生み出す産業づくり
- ② 地域で守り育てるまちづくり
- ③ 郷土の未来を育む人づくり
- ④ 暮らしを支える基盤づくり
- ⑤ 住民と行政の協働のまちづくり

◎予算大綱について

第二次芦北町総合計画の基本理念のもと、まちづくりの五つの目標を設定し、健全で持続可能な財政運営を基本に、積極的な事業展開を図ることにしました。

◎結び

その結果、平成27年度一般会計予算額は、98億3,600万円となり、特別会計及び水道事業会計を合わせますと、平成27年度の予算総額は、166億6,660万円となっております。

平成27年度は、今後ますます厳しくなる地域間競争の時代の渦中にあつて、これまでの10年間の実績と誇りを確かな自信とし、芦北町に住み続けたいと感じられる「個性輝き活力と魅力にあふれた、安全・安心を実感できるまちづくり」の実現に向けて、全力で邁進してまいります。



施政方針と予算大綱説明(竹崎町長)

平成27年度 当初予算を可決 166億6,660万円

会 計 名		27年度予算額	増減率
一 般 会 計		98億3,600万円	△ 1.0%
特 別 会 計	国民健康保険事業	37億2,420万円	4.3%
	介護保険事業	21億2,510万円	2.0%
	簡易水道事業	8,350万円	14.1%
	農業集落排水事業	2億2,030万円	△ 6.3%
	生活排水処理事業	5,600万円	0.0%
	町有温泉事業	1億 310万円	6.6%
	奨学資金貸付事業	3,590万円	13.2%
	後期高齢者医療事業	2億6,070万円	△ 1.9%
公営企業会計（水道事業）		2億2,180万円	△27.4%
合 計		166億6,660万円	0.1%

（P6～10に関連記事）

平成26年度補正予算を可決 2億4,447万円を追加

（金額は1万円未満を四捨五入）

会 計 名		補正額（増額）	予算総額
一 般 会 計		2億2,297万円	103億6,974万円
特別会計	国民健康保険事業	150万円	36億1,328万円
	介護保険事業	2,000万円	21億 560万円

一般会計補正予算に関する主な質疑（要約）

質 債務負担行為（平成27年度から3年間）で薩摩街道佐敷宿交流館など6件の指定管理者に関する運営委託料が前の3年間分より、ほとんどアップされているがその理由は。

答 消費税等のアップに伴う分が増えている。

質 まちづくり振興基金積立金が計上されているが、現在だけだけあるのか。
また、どのような事業に充当しているのか。

答 まちづくり振興基金の残高は、平成26年度末で約11億5,200万円であり、現在は、スポーツ振興事業補助金のみに充当している。

平成27年 第1回芦北町議会定例会

議案番号	議 案	内 容	結 果
議案第1号 ～14号・44号	平成26年度一般会計及び特別会計補正予算、平成27年度一般会計、特別会計及び水道事業会計予算（概要等は、P3・P6～10に掲載）		原案可決
議案第15号	芦北町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の制定について	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、条例を制定するもの。	原案可決
議案第16号	芦北町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、条例を制定するもの。	原案可決
議案第17号	芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第18号	芦北町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例の制定について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の制定により、条例を廃止するもの。	原案可決
議案第19号	芦北町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第20号	芦北町職員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第21号	芦北町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第22号	芦北町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	所得税法施行令の一部改正に伴い、通勤手当の非課税限度額が引き上げられたため、条例を改正するもの。	原案可決
議案第23号	芦北町情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	独立行政法人通則法の一部改正に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第24号	芦北町地域支援事業等負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法の一部改正に伴い、芦北町軽度生活援助事業を廃止し、地域支援事業において代替事業を実施するため、条例を改正するもの。	原案可決
議案第25号	芦北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法の一部改正に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第26号	芦北町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第27号	芦北町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部改正に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第28号	芦北町一般廃棄物処理条例の一部を改正する条例の制定について	指定ごみ袋の種類を変更・追加し、指定ごみ袋の価格を設定するため、条例を改正するもの。	原案可決

平成27年 第1回芦北町議会定例会

議案番号	議 案	内 容	結 果
議案第29号	芦北町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	児童福祉法の一部を改正する法律及び難病の患者に対する医療等に関する法律の施行に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第30号	芦北町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部改正に伴い、条例を改正するもの。	原案可決
議案第31号	新町建設計画の変更について	新町建設計画を変更するときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第32号	芦北町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第33号	芦北町女島活力推進センターの指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第34号	芦北町吉尾温泉公衆浴場の指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第35号	芦北町物産館の指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第36号	芦北町御立岬公園の指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第37号	芦北町御立岬公園釣り場の指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第38号	芦北町大野温泉センターの指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第39号	芦北町計石港観光休憩所の指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第40号	芦北町薩摩街道佐敷宿交流館の指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第41号	古石地区生涯学習センターみどりの里の指定管理者の指定について	指定管理者の指定をしようとするときは、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第42号	あらたに生じた土地の確認について	町の区域内にあらたに生じた土地を確認するには、議会の議決が必要なため。	原案可決
議案第43号	字の区域の変更について	町の区域内の字の区域を変更するには、議会の議決が必要なため。	原案可決

平成27年度当初予算審査結果報告

総務常任委員長 草野安道

一抜粋一



議案第5号「平成27年度芦北町一般会計予算」

【企画財政課】

前年度比2, 323万3千円減の13億4, 345万6千円が予算計上されております。主な減額の理由は、公債費の長期債元金及び利子の減によるものです。

主な事業としては、新たな「芦北町総合計画」に基づく事業の進捗を管理するとともに、統計調査総務費で国勢調査などの基幹統計調査が実施されます。

主な質疑を申し上げます。まちづくり振興基金の残額が高額な理由は何か。また、新聞記事によると、過大な基金は国が返納を義務づけているとあったがどうかとの質疑に対し、まちづくり振興基金は、合併団体の特例として、今後の交付税縮減に備え、合併特

例債を活用した基金造成が国の制度として認められている。国の制度で基金の目安が示されており、本町の試算では約11億円となっていることから、これを目標に積み立ててきたためとの答弁がありました。



7月12日(日)開催予定

【総務課】

前年度比1億3, 312万9千円減の11億1, 664万4

千円が予算計上されております。主な減額の理由は、財産管理費においてまちづくり振興基金積み立ての減などによるものです。

主な事業としては、平成27年12月までを合併10周年記念事業実施期間として、「開運なんでも鑑定団」など各種記念イベントが計画されております。また、新たな総合計画に合わせ、町勢要覧の内容が更新されます。なお、財産管理費において、利活用計画のない遊休地が宅地として整備されます。

主な質疑を申し上げます。防犯カメラはどこに設置するのかとの質疑に対し、御立岬温泉センター駐車場に2台、海浜公園駐車場に2台、スカイドーム駐車場に1台を計画しているとの答弁がありました。



防犯カメラ設置予定の芦北海浜総合公園駐車場

【田浦基幹支所】

分電盤ブレーカー取替や屋内消火栓用消防ホース取替及び隔年実施の樹木管理委託料により、前年度比35万5千円増の1, 250万3千円が予算計上されております。

主な質疑を申し上げます。窓口の取扱件数はどれくらいかとの質疑に対し、本年1月末現在で戸籍関係、会計事務、その他把握している本庁担当課の受付件数など合計で約18, 000件の事務処理を行っているとの答弁がありました。また、樹木管理委託は本庁では毎年実施している

ようだが、2年に1回の実施で問題ないのかとの質疑に対し、以前は庁舎側と職員駐車場側を毎年交互に実施していたが、毎年実施するより2年に1回実施した方が効率的に予算の執行ができて問題ないとの答弁がありました。

【税務課】

前年度比508万8千円増の5, 760万3千円が予算計上されております。主な増額の理由は、町税等還付金の増などとなっております。

3年ごとの評価替えのための固定資産税課税土地評価業務委託料については、債務負担行為が設定されております。また、土地家屋評価調査業務委託において、未評価家屋の評価が引き続き行われます。

主な質疑を申し上げます。土地について悉皆調査を行わなくても、地籍調査の結果で分かるのではないのかとの質疑に対し、地籍調査では地目・地積・所有者等について確認するが、悉皆調査では、課税を行うために一筆一筆の土地

の現況等、また、家屋一棟一棟の課税状況を確認する必要があるとの答弁がありました。

【議会事務局】

議会費と監査委員費の二つからなり、前年度比68万8千円増の1億3,376万6千円が予算計上されており、主な増額の理由は、議員共済会給付費負担金の率が大きく増えたこと及び議員の期末手当の増などによるとの説明がありました。

質疑を申し上げます。議員共済会給付費負担金が大幅にアップした理由は何かとの質疑に対し、議員共済会給付費負担金の基となる全国町村議会議員数の減少が、影響しているとの答弁がありました。

以上、当委員会に付託されました議案第5号「平成27年度芦北町一般会計予算」につきまして、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成27年度当初予算審査結果報告

建設経済常任委員長 元山 秀志

一抜粋一



議案第5号「平成27年度芦北町一般会計予算」

【建設課】

町道射場芦北線改良事業や町道才木村中2号線改良事業などの主要事業について説明があり、予算計上額は、8億8,721万8千円で、前年度比1億1,769万5千円の増となっております。

委員から、町道射場芦北線改良事業は重要であり期待も大きい。工事が早く進むよう努力してもらいたい、今後どのように対応するのかとの質疑があり、平成26年度で土地家屋の評価を行っており、3月末に完了するので、その後、用地交渉を行い、買収が終わった箇所については、速やかに工事に着手したいとの答弁がありました。



町道射場芦北線の改良予定箇所

【農林水産課】

国見地区と大岩地区において集落の自発的な話し合いを促す地域営農振興プラン作成支援事業、町有林の計画的な伐採と保育事業及び芦北町漁協に対する合併支援策の総仕上げとして、牛の水漁港における水産物加工所や観光うたせ休憩所を活用した直売所の建設に着手することなどの新規事業並びに各振興事業の主要なものについて説明があ

り、予算計上額は、6億4,774万円で、前年度比8,055万4千円の減となっております。

委員から、町有林を活用する事業では、収支をどのように考えているかとの質疑に対し、平成27年度は、平成26年度補正分を含めて32・5haの間伐を行うが、補助金と木材の売り払いを含めると約300万円のプラスになると積算しているとの答弁がありました。

【農業委員会事務局】

農地利用状況調査や農業経営に関するアンケート等を基に農地調整活動などを継続して行い、農地利用の効率化を促進するとの説明があり、予算計上額は、1,009万4千円で、前年度比83万5千円の増となっております。

委員から、農地利用状況調査では、どのようなことを行うのかとの質疑に対し、農業

委員に担当地区の農地を毎月1回パトロールしてもらい、定期的に現況を把握するとの答弁がありました。

【上下水道課】

簡易水道事業、生活排水処理事業及び農業集落排水事業に関する繰出金並びに浄化槽設置整備事業補助金などの予算計上額が、2億1,825万3千円で、前年度比660万4千円の減となっております。

委員から、浄化槽の補助金は、芦北町木造住宅建築支援事業補助金を受ける場合どうなるのか。また、補助金の基準額はいくらかとの質疑があり、通常は、浄化槽の補助金として基準額に町単独の上乗せ補助を行っているが、木造住宅建築支援事業補助金を受ける場合、浄化槽の補助事業分として、基準額(国1/3、県1/3、町1/3)のみの補助金を交付しており、町単独の上乗せ補助分は、町単独の重複補助を避けるため交付していないとの答弁がありました。

【商工観光課】

創業等店舗整備支援事業
芦北海浜総合公園における公園施設長寿命化対策支援事業などの新規事業及び商工業振興事業補助金のうちプレミアム付き商品券発行事業補助金を1,300万円から1,600万円に増額するなどの説明があり、予算計上額は、4億8,043万3千円で、前年度比4,817万6千円の増となっております。

委員から、特産品開発支援事業補助金と商品開発委託料の内容はどのようなものかとの質疑があり、特産品開発支援事業補助金は、民間事業者等が行う新商品開発や既存商品の改良に対し補助するものの。商品開発委託料は、岬の御塩を使った新商品開発を行うための委託料で、町が主体となつて行う事業であるとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第5号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



岬の御塩を使い開発された商品

議案第8号「平成27年度芦北町簡易水道事業特別会計予算」

通常の維持管理業務及び小田浦国道3号配水管推進工事等に加え新規事業として、水道事業と簡易水道事業の統合に向けて水道料金システム統合などの業務委託を行うとの説明があり、予算計上額は、8,350万円で、前年度比1,030万円の増となっております。

委員から、公債費での償還は何件か。また、利率は何%かとの質疑があり、償還件数は8件で、最高利率は昭和61年度借入の5・2%、最低利率は平成26年度借入の2%であるとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論も

なく、議案第8号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第9号「平成27年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算」

通常の維持管理に加え新規事業として、芦北処理場において老朽化が見受けられるため、施設の長寿命化に向けて機能診断の業務委託などを行うとの説明があり、予算計上額は、2億2,030万円で、前年度比1,480万円の減となっております。

委員から、この事業会計で、採算を考えた場合、どの程度の接続率が必要なのかとの質疑があり、現在の接続率は78・5%であり、目標の80%に向けて努力したいとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第9号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第10号「平成27年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算」

浄化槽879基に対する維持管理が主なものであるとの説明があり、予算計上額は、前年度と同額の5,600万

円となっております。

委員から、この事業で、管理する浄化槽が増加する見込みはあるのかとの質疑があり、現在、市町村設置型での整備は行っていないので、増加の見込みはないとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第10号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第11号「平成27年度芦北町有温泉事業特別会計予算」

通常の維持管理を適正に行い、住民に親しまれる運営に努めるとの説明があり、予算計上額は、1億310万円、前年度比640万円の増となっております。

委員から、計石温泉センターの浴室天井改修の内容はどのようなものかとの質疑があり、現在は、冬前に手作業で天井にシートを張っているが、滑車を付けて天井シートの開閉を容易にするものであるとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第11号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



計石温泉センター

議案第14号「平成27年度芦北町水道事業会計予算」

通常の維持管理に加え簡易水道事業会計と同様に経営の統合に向けて水道会計事業の経営変更認可申請に伴う業務委託を行うとの説明があり、予算計上額は、収益的支出予算と資本的支出予算の合計が2億2,180万円で、花岡浄水場送水ポンプ更新事業費等の減により、前年度比8,357万7千円の減となっております。

以上、質疑及び討論もなく、議案第14号については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成27年度当初予算審査結果報告

文教厚生常任委員長 前田 徹一

一 抜粋



議案第5号「平成27年度芦北町一般会計予算」

【福祉課】

前年度に対し、1,937万2千円増の17億8,622万4千円が計上されております。

対前年比1・1%の伸びとなつていますが、臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の減額に対し、保育所民営化に伴い私立保育所運営事業が増額となつたとの説明がありました。

【民生生活課】

予算計上額は18億8,806万5千円で前年度に対し、8,571万円の増となつております。

増額の主な要因は、新規事



戦没者の追悼と平和を祈念する碑の建設予定地(みかげ公園)

した。また、民生委員は何人かとの質疑に対し、民生委員・児童委員は62名、主任児童委員が3名で、計65名との答弁がありました。

業の地域介護福祉空間整備等施設整備交付金及び介護保険事業特別会計繰出金が増加したことなどによるものです。

総合窓口業務では、平成28年1月から利用開始が予定されている社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の付番通知等の準備に取り組むとの説明がありました。

医療年金・保健業務では、「あしきた健康体操」の全町普及をはじめ、各種検診を実施し、環境対策事業では、平成28年の水俣病公式確認60年を控え、水俣病犠牲者の慰霊と水俣病被害地域内外との人的交流を図り、もやい直しが推進されます。

また、ごみ処理業務では、資源不燃ごみに小袋を新規作製し、利便性の向上を図るとの説明がありました。

質疑の主なものを申し上げます。個人番号カードについ

ての質疑に対し、12桁の数字を住民一人一人に付番し通知されるが、その際に個人番号カード取得の申請書も同封されてくるので、希望する方は申請し、役場で受け取ってもらうことになるとの答弁がありました。

【教育課】

予算計上額は5億2,582万7千円で前年度に対し、5,704万円の減となつております。

減額の主な理由については、小中学校のエアコン設置事業が26年度に終了したため大幅減額となつております。本年度の主な事業として、吉尾小、湯浦小、湯浦中の体育館のつり天井耐震化工事、小学校の教科書改訂に伴うデジタル教科書の購入費等が計上されています。

主な質疑を申し上げます。スクールバスの保有台数は何台かとの質疑に対し、26人と29人乗りが16台、10人乗りが3台のうち1台はリース車との答弁がありました。

また、中学校の準要保護生徒数は何人か。周知は行っているのかとの質疑に対し、準要保護生徒数は68人で、周知は学校から保護者へ行つておるとの答弁がありました。

【生涯学習課】

前年度に対し669万円増の3億2,870万5千円が計上されております。

増額の主な要因は、合併10周年記念事業開催に伴う事業費の増によるものとの説明がありました。

新規事業としては、合併10周年記念事業として「第1回藤井瑞希杯バドミントン大会」、「星野富弘美術館コンサート及び講演会」が計画されています。

さらに、合併10周年を機に「町誌」編纂に伴う委員会を立ち上げ事務を推進するとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。図書購入費はこの分かつの質疑に対し、100万円が芦北図書館で、50万円が田浦図書館との答弁がありま

した。

また、文化振興事業の予算が増えているがとの質疑に対し、大会出場者への補助金に交通費の補助を追加したためとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は、討論もなく、当委員会に係ります
議案第5号「平成27年度芦北町一般会計予算」については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



ドイツで活躍中のロンドンオリンピック銀メダリスト
藤井瑞希選手（中央）

議案第6号「平成27年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算」

事業勘定については、予算

計上額は36億7,000万円、前年度より1億5,240万円の増となっています。

保健センターと連携し、健康づくり推進事業を実施するとともに、医療費の適正化に向け、医療費通知並びにジェネリック医薬品差額通知書を送付し、国保財政の健全運営に取り組んでいくとの説明がありました。

直診勘定については、予算計上額は5,420万円で前年度より130万円の増となっています。へき地支援機構との連携により、週3回の診療を確保するとの説明がありました。

質疑では、吉尾診療所でジェネリック医薬品を使った場合、どれくらい安くなるのかとの質疑に対し、年間で100万円程度削減されるとの答弁がありました。

質疑後は、討論もなく、議案第6号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



吉尾温泉診療所

議案第7号「平成27年度芦北町介護保険事業特別会計予算」

予算計上額は、21億2,510万円で前年度に対し、4,240万円の増となっております。

増額の主な要因は、要支援1と2に係る訪問介護と通所介護の介護予防給付サービスが、地域支援事業に移行したこと。

また、これまで高齢者福祉と介護保険事業で実施していた配食サービスを介護保険事業へ統合したことに伴い、増額になったとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。地域支援事業に踏み切った理由及びサービス低下が起こらないのかとの質疑に対し、国の方針で、第6期期間中に移行しなければならぬこと、移行にあたっては、国が示す給付単価に準じて支払いを行うため、給付事業と金額的に変わらないことなどから移行に踏み切ったとの答弁がありました。

また、平成27年4月1日から移行する団体は、総合事業費枠の1割増が認められるとの答弁がありました。

なお、サービスの低下には繋がらない、サービスは維持するとの答弁がありました。

質疑終了後は、討論もなく、議案第7号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第12号「平成27年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算」

予算計上額は、3,590万円で大学生の貸付金を月額5万円に引き上げたことで、申請者が増加し前年度に対し

420万円の増となっております。

主な質疑を申し上げますと、滞納者の現状についての質疑に対し、現在18名の滞納者があり、保護者、連帯保証人と連絡をとり滞納整理を進めているとの答弁がありました。

質疑終了後は、討論もなく、議案第12号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第13号「平成27年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算」

予算計上額は、2億6,070万円で、前年度に対し510万円の減額となっております。

減額の主な理由は、低所得者に対する保険料軽減分の増により、連合会納付金が466万3千円減額になったとの説明がありました。

説明後は、質疑・討論もなく、議案第13号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



宮尾議員

一般質問 (要約)

地方創生に どう取り組むのか！

質 昨年11月に、まち・ひと・しごと創生法が施行された。急速な少子高齢化の進展に対応することとしている。今までも日々精励、努力されて来ているが、今回の地方創生にどのような取り組みの

答 町長 芦北町総合計画を最上位計画として策定し地域の実情に応じた自主的な施策に取り組んで来た。今後も総合計画を基に取り組む。

質 芦北町総合計画を最上位計画として策定し地域の実情に応じた自主的な施策に取り組んで来た。今後も総合計画を基に取り組む。

答 町長 芦北町総合計画を最上位計画として策定し地域の実情に応じた自主的な施策に取り組んで来た。今後も総合計画を基に取り組む。

質 芦北町総合計画を最上位計画として策定し地域の実情に応じた自主的な施策に取り組んで来た。今後も総合計画を基に取り組む。

答 町長 芦北町総合計画を最上位計画として策定し地域の実情に応じた自主的な施策に取り組んで来た。今後も総合計画を基に取り組む。

質 芦北町総合計画を最上位計画として策定し地域の実情に応じた自主的な施策に取り組んで来た。今後も総合計画を基に取り組む。

答 町長 芦北町総合計画を最上位計画として策定し地域の実情に応じた自主的な施策に取り組んで来た。今後も総合計画を基に取り組む。

質 芦北町総合計画を最上位計画として策定し地域の実情に応じた自主的な施策に取り組んで来た。今後も総合計画を基に取り組む。

答 町長 芦北町総合計画を最上位計画として策定し地域の実情に応じた自主的な施策に取り組んで来た。今後も総合計画を基に取り組む。

り事業効果を得られる総合戦略の策定を行っていく。

質 総合計画の将来推計人口では2040年に11,268人と推計されている。地方創生の取り組みの中では将来人口をどの程度見込んでいるのか。

答 町長 総合計画の将来推計人口では2040年に11,268人と推計されている。地方創生の取り組みの中では将来人口をどの程度見込んでいるのか。

質 総合計画の将来推計人口では2040年に11,268人と推計されている。地方創生の取り組みの中では将来人口をどの程度見込んでいるのか。

答 町長 総合計画の将来推計人口では2040年に11,268人と推計されている。地方創生の取り組みの中では将来人口をどの程度見込んでいるのか。

質 総合計画の将来推計人口では2040年に11,268人と推計されている。地方創生の取り組みの中では将来人口をどの程度見込んでいるのか。

答 町長 総合計画の将来推計人口では2040年に11,268人と推計されている。地方創生の取り組みの中では将来人口をどの程度見込んでいるのか。

質 総合計画の将来推計人口では2040年に11,268人と推計されている。地方創生の取り組みの中では将来人口をどの程度見込んでいるのか。

答 町長 総合計画の将来推計人口では2040年に11,268人と推計されている。地方創生の取り組みの中では将来人口をどの程度見込んでいるのか。

芦北高校の存在意義は

質 芦北高校は、平成23年秋に創立90周年を迎え、15,000人余の卒業生は全国で活躍している。専門性を持つ高校としてなくてはならない高校だと考える。芦北高校の存在をどう考え、県の再編計画とも鑑み、今後どう関わっていくのか。

答 町長 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

質 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

答 町長 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

質 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

答 町長 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

質 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

答 町長 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

検討がなされる可能性も想定されると思う。このことについて町はどう関わっていくのか。

質 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

答 町長 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

質 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。

答 町長 芦北高校は多くの実績を誇る素晴らしい学校で、何が何でも存続しなければならない学校と考えている。今後も、同窓会、地域など関係団体との連携を図って支援したいと考えている。



熊本県立芦北高等学校

一般質問 (要約)



坂本議員

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への取り組みは！

質 平成27年度施政方針の中で、総合計画を基に地方版総合戦略の策定に着手すると述べられたが、町としてどのように取り組む考えか。

答 企画財政課長

地方版総合戦略策定は、町の最上位計画である芦北町総合計画を基に取り組む。

空き家調査を広げては

質 空き家調査と同時に家屋の活用計画についても調査項目を広げるように検討する考えはないか。

答 企画財政課長

空き家調査は計画しているが、空き部屋の調査は今のところ行う考えはない。

集落内で談話できる場所の確保は

質 集落内で高齢者が集まってお茶を飲み、談話ができる場所の確保及び家屋内外で軽作業の手伝いなど、応援体制を検討する考えはないか。

答 町長

既に芦北町社会福祉協議会

に委託し、取り組んでいる。

答 福祉課長

水俣芦北地域見守り活動推進事業の中で、平成23年度から取り組んでいる。

家屋内外の軽作業などの応援体制についても、同事業の中で住民同士の支え合いを基盤とした見守り活動と、生活支援を一体的に取り組む安心生活サポート事業に取り組んでいる。今後も普及と啓発を行う。

有害獣被害と対策は

質 鹿、イノシシの被害実態と、今後の鳥獣被害対策についてどう考えているのか。

答 町長

芦北町有害鳥獣被害防止対策協議会を平成21年度に立ち上げ取り組んでいる。

答 農林水産課

平成25年度農林業に対する被害は、イノシシが6・5ha、1,520万5,000円、ニホンジカが35・1ha、1,255万4,000円となっている。

今後の対策、方針として一

年間を通して有害獣の捕獲許可、箱罾の貸出を行うことや捕獲従事者確保のための罾猟・猟銃免許の取得支援、農地を守る防護柵等の資材費助成、捕獲方法・防護柵設置の講習会開催、被害防止のための広報を実施したい。



住宅地付近にも出没し農地を荒らすイノシシ

交通弱者の移動手段確保は

質 公共交通機関がない地域へ乗合タクシーを検討する考えはないか。

答 企画財政課長

乗合タクシーについては検

討する考えはない。

なお、廃止された民間のバス路線を中心に、スクールバスを活用し運行しているが、運行されていない部分もあるので優先的に再編したいと考えている。

戦争に関する歴史認識は

質 学校教育の中で、児童生徒に対して、第二次世界大戦前後の歴史の真実を伝える機会をつくる考えはないか。

答 町長

戦争に関する歴史認識については、平和を愛し、戦争のない社会を実現する思いは、誰しも同じ思いである。

答 教育長

小学校では、全学校が教材の中で戦争に関するものがあつた場合は、随時、学習している。

中学校においても、国語、社会、道徳の授業の中で戦争について学んでいる。



前田議員

一般質問 (要約)

少子化対策（子育て支援）を どうする！

質 少子化対策については、人口減対策も含め全国ほとんどの自治体を取り組んでいる最重要課題の一つである。

答 本町においても重要な課題は、少子化を見据え、子どもが減ってきている地域の子育てを、しっかり支援する施策である。

2015年から2024年の芦北町総合計画「地域で支える子育て環境づくり」の中に、保育サービスの充実や、子育てに伴う経済的支援に努めるとある。

少子化対策における子育て支援策として、本町独自に子どもを持つ保護者、家族の切実な願いである保育料の更なる引き下げに取り組む考えはないか。

答 町長

18歳までの子ども医療費無料化をはじめ、総合的に各種施策に取り組んでおり、保育料は子育て世帯の負担軽減から、国の基準の65%程度に引き下げている。

さらなる引き下げについては、国の動向、町の財政状況等を見ながら検討したい。

答 福祉課長

保育料については、近隣及び県内同規模自治体と比較しても低位に設定しており、仮に10%引き下げると年間約2,000万円の負担増加になる。

子育て支援については、子育て世帯を対象としてニーズ調査に基づき総合的に取り組んでいきたい。

本町に埋設されている除草剤の処理は

質 1971年に農水省、林野庁の指示により、本町に埋設処分されたところある除草剤は、埋設されてからすでに44年経過しており、埋設処分の方法次第では早急な撤去処分も必要と思うが、今まで連絡、報告等があったか。

答 町長

除草剤の埋設に係る連絡、報告等はあっており、現場も数回見ている。

答 住民生活課長

林野庁において、毎年4月と10月の2回定期点検が実施

されており、平成23年からは毎年、熊本県、芦北町、林野庁九州森林管理局、三者合同の現地視察を実施し、説明を受けており、本年は2月26日に実施したところである。

本町として住民の安全・安心及び環境保全の観点から、九州森林管理局に対し、一貫して埋設物の撤去要請をしている。

米田川における魚道の確保を

質 米田川の現状は、河川改修工事が進み川はきれいになったが、堰などが造られた関係で、魚の遡上（さうじょう）ができなくなり、以前は数多く生息していた魚がほとんど見られなくなった。

河川環境保全と、魚が遡上し生息できる本来の川の姿を取り戻すために、魚道の整備が必要と思うがどうか。

答 町長

環境保全とともに、かつての生態系を取戻そうという取り組みは非常に大切であり、同感である。

河川管理者である県に対して、しっかり申し上げ対応を検討したい。

答 建設課長

直近では、平成2年から3年にかけて災害関連工事として整備された落差工及び農業用の取水施設である頭首工が9箇所あり、その段差は30cmから1.5mとなっている。

これらが魚の遡上や生息数の減少にどのように影響を与えているか施設ごとに確認する必要があるが、魚道の整備も含め県に伝えたい。



米田川の落差工

一般質問 (要約)

情報の公開度を 高めてはどうか！



川尻議員

質 県内自治体情報公開度ランキングが45市町村中、本町は30位で、前回より5ランク下がった。アンケート内容を明らかにされたい。

答 総務課長

10項目で1問10点となっている。首長交際費の公開度が3問で30点満点。情報公開制度の運用が4問で10点。議会の公開度が3問で10点で計100点満点中50点である。

質 情報公開をさらに進め、町民に情報を提供する必要があると思うがどうか。

答 総務課長

アンケート調査内容、回答の選択肢・採点方法など評価の仕方に疑問視する所もあり、ランキングと一概に比較できない部分もある。
芦北町情報公開条例に基づき適正な事務執行に努めている。

質 情報の開示請求の事務手続きが広義住民に限られている。

る。何人という形で情報を共有するシステムにすべきではないか。

答 町長

今のところ考えていないが、社会情勢の動勢を見て必要な時にはそうなるのではと思う。

「地方創生戦略」芦北町の長期ビジョンは

質 地方創生戦略の作成に当たり取組体制はどう考えているのか。

答 企画財政課長

現場の声などを重視する必要がある、産業関係団体に出向き意見交換を実施しながら取り組む。

質 戦略の基本目標はどう考えているのか。

答 企画財政課長

国の総合戦略にある4つの基本目標を勘案して策定する。

質 この戦略は芦北町の長期ビジョンとして重要であり、定住促進に向けて、産業構造の中で雇用対策を基本に入れたもらいたいがどうか。

答 町長

この制度が出来た以上は、有効かつ最大限に活用したい。

土曜授業への対応は

質 熊本県教育委員会は、公立小中学校に土曜授業に関して国語や算数などの通常授業も取り入れるよう市町村の教育委員会に文書で通達した。

これを受け、本町教育委員会の対応はどうするのか。

答 教育課長

既に定着している週5日制での土曜日における社会体育、習い事、行事などの調整と、また、教職員の勤務時間割り振りなど解決しなければならぬ問題があり、土曜授業の実施予定はない。

本町は、数年前に学校管理

規定を改正して夏休みを10日間まで短縮できることになっている。また、エアコンも全校に設置済みであり、夏休みの短縮で十分対応できると考える。



クーラーが設置された教室

質 県教委が土曜授業を進めるように通達したのはなぜだと思うか。

答 教育課長

土曜日を使ってさらに学力を上げてほしいという意図があると判断している。



荒川議員

一般質問 (要約)

地方創生による 定住対策などをどうする！

質 人口減少を止めるためには、芦北町が独自の事業を起こし、若者の地元での就職を推進する必要がある。

答 今回の地方創生では、地方に仕事をつくり、安心して働けるようにするとある。国の政策を受け、地方活性化のために本町ではどういった新たな取り組みを考えているのか。

答 企画財政課長

地方活性化に対し、これまでも総合計画において、地域の活性化を目標とする政策を展開してきた。今後、有利な財源となる交付金が措置されることから、地方版の総合戦略を策定し、事業に取り組む。

質 広く町民から事業等のアイデアを募集し、その優秀なアイデアを、町を挙げて取り組み、芦北発の事業を全国に向けて発信していく必要がある。今回の国の政策は、絶好のチャンスだと思う。そのような芦北発の新事業のアイデアを広く町民に募集する考えはないか。

答 企画財政課長

アイデア募集については、町民意識調査の中で実施してきている。今回の策定にあたっては、現場の声を重要視し、産業関係団体等に出向き意見交換会を実施する予定である。

質 今回の政策は、地方への新しい人の流れをつくるとして、また、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えるとして、多子世帯、三世帯同居の支援も明記してある。前回質問した若者定住対策として、実家に定住する若者に向けた家の新築・増改築にかかると費用の一部を補助するという提案も、今回の地方創生を踏まえて、再度検討する考えはないか。

答 企画財政課長
今回、国が打ち出した地方創生において、地方への移住・定住に対する受け皿の整備も総合戦略の一つとして位置付けてあるので、交付金を活用した若者定住対策について検討する。

質 今回の政策は、時代に

合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとして、地域インフラサービスの集約・活性化とも明記してある。これも前回質問した、光通信を町内全域に開通させるという質問にもつながってくる。再度検討する考えはないか。

答 企画財政課長

光通信の整備については、本町においてはLTEが整備されていることから、光の道交付金を利用することができない。また、町が整備する場合には、多額の費用が想定されることから、光通信の整備については現在のところ考えていない。

外国クルーズ船乗客の観光ルートに芦北を

質 外国のクルーズ船が八代港に入港し、県内をバスで観光しているが、この機会に観光施設を再確認して、新たな観光ルートの構築ができないか見直すことで、芦北の魅力が一層高められる。海外からのクルーズ船に限らず、町外からの観光客の観光ルートの整備に取り組むいいチャンス

だと思う。芦北を観光ルートとして積極的に提案する考えはないか。

答 町長

現在、熊本県や関係機関と連携を進めながら検討しており、今後も検討していく。

答 商工観光課長

海外クルーズ船の寄港は、地域周辺への経済効果が非常に大きく、寄港地観光としても期待がもたれている。今後、観光ルートとして提案するためには、訪問目的に応じた効果ある提案ができるよう、受入体制の整備も含めて、関係機関と連携を図りながら検討していく。



八代海の波多島沖を進む観光クルーズ船

議会のうごき

- 1月16日 広報特別委員会
 21日 議会運営委員会視察研修（兵庫県、京都府）（～23日）
 2月 2日 熊本県町村議長会理事会
 18日 熊本県町村議長会定期総会
 24日 議会運営委員会
 3月 2日 3月定例議会（議案審議）
 3日 建設経済常任委員会
 " 文教厚生常任委員会
 4日 総務常任委員会
 " 文教厚生常任委員会
 5日 総務常任委員会
 " 建設経済常任委員会
 12日 3月定例議会（一般質問）
 13日 3月定例議会（議案審議）
 " 広報特別委員会
 23日 水俣芦北広域行政事務組合議会
 定例会

※次回の議会は、6月中旬の予定です。

永年在職議員の表彰



後列左から 前田議員、元山議員、宮尾議員、平松議員
 前列左から 水口副議長、寺本議長、藤井議員

2月6日に全国町村議会議長会から、地域の振興発展等に尽力された議員として、27年以上在職の寺本議長、水口副議長、藤井議員及び15年以上在職の平松議員、宮尾議員、元山議員、前田議員が表彰されました。また、15年以上在職の4人には、熊本県町村議会議長会からも表彰されました。なお、表彰状は芦北町議会3月定例議会の初日（3月2日）に議場で伝達されました。

議会改革先進地で研修



兵庫県播磨町での研修

1月21日から23日まで、兵庫県播磨町と京都府久御山町を寺本議長及び議会運営委員会（宮尾・草野・水口・藤井・元山・前田）で訪問し、「議会改革及び活性化」と「議会基本条例制定」について研修しました。両町とも議会改革等に向け特別委員会を設置し、検討を重ね熟慮したうえで条例を制定されています。また、議会報告会の参加者が減少するなど問題も抱えていました。なお、本町議会でもさらなる議会改革等に向け議論を深める必要を感じた有意義な研修でした。（宮尾）

議会広報特別委員会

委員長	宮内道則
副委員長	平松洋一
委員	宮尾秀行
"	前田徹一
"	白坂康浩
"	荒川知章

今後とも将来の展望を見据え、さまざまなイベントを通して融和を図り、個性輝き活力と魅力にあふれた、安全・安心を実現できる町づくりに取り組んでいきたい。

（白坂）

編集後記

本町では、芦北町合併10周年記念事業としてイベントがたくさん企画されており、すでに大相撲芦北場所やNHKのど自慢などが開催され、いずれも大盛況であった。

また、7月12日に開催予定の「開運なんでも鑑定団」の出張鑑定in芦北には、どんなお宝が出るのか楽しみである。

スポーツ面では、ロンドンオリンピック銀メダリストの藤井瑞希選手を顕彰したバドミントン大会での熱戦に期待している。